

ウィキペディアにおける編集実態の解析

05L4344 鈴木 翔悟

1. ウィキペディアとは

2001 年にジミー・ウェールズが Wiki という協同作業ソフトウェアを使って創始したウェブ上の無料百科事典で、現在英語版 270 万、日本語版 55 万記事がある。誰でも記入でき、誰でも編集できることが特徴である。

2. ウィキペディアの編集指針

ウィキペディアの基本的な方針には次のものがある。

- ①ウィキペディアは百科事典、②偏見を避ける、③著作権を侵害しない、④他の人に敬意を払う、⑤独自の研究は載せない

またウィキペディアの三大執筆方針とは次のものである。

- ①検証可能性、②中立的な観点、③独自の研究は載せない

3. ウィキペディアの運営

ウィキペディアにはボランティアの管理者と呼ばれる人たちがいる。日本では約 60 人の管理者がいるとされている。誰にでも編集できるというウィキペディアの特性から、悪意を持って編集が行われた場合、ウィキペディアは事典としての形態を保てなくなる可能性がある。悪質な編集が発生した場合、これを削除したり修正したりすることは誰でもできるので、通常はこうした参加者の手で事典としての形を保っている。しかし悪意を持った編集者が執拗な場合は、編集合戦が発生することがある。そのような場合、管理者は該当ページをそれ以上編集できないように「保護」することができる。

5. ウィキペディア編集上の諸問題

次のような問題がある。

(1) 荒らし

ウィキペディアの記事に対して無関係な記載やいたずらをおこなうことである。

(2) 編集合戦

あるユーザーが書いた記事を別のユーザーが削除し、それを元のユーザーが書き戻す。それをまた削除する、というようないたちごっこを編集合戦という。

(3) 著作権の侵害

(4) 個人や組織に対する誹謗中傷や名誉毀損

(5) 中立的な観点の欠如

(6) 記事の信頼性

誤った記事内容が、訂正されずに残っている場合がある。

6. ウィキペディアの編集事例の調査

ウィキペディアでは編集履歴が保存されているので、3つの事例についてこれを解析した。

(1) 「東国原英夫」の記事

専修大学の名前を学歴に記載しようとする人たちと、専修大学の名前の記載を許さない人たちとの編集合戦があった。「保護」によって収まった。また血液型についての議論や誹謗中傷と思われる編集が発生した。

(2) 「アルベルト・アインシュタイン」の記事

血液型についての記載をめぐる編集合戦が起こった。どれだけ知っていることを掘り下げることができるか、ということの重点が置かれており、詳しいことがとめどなく追加されると、記事を編集できるようになる人は少なくなっている。

(3) 「クリスマス」の記事

年中行事であるため、その日が近づくといわずらに近い編集が増加している。かなり細かい部分での編集で、出典の記載がないため、ノート内でも事実かどうか議論されている。出典の明記の無い記事を削除したら削除の理由を求められたケースもある

7. 考察

東国原英夫、アインシュタインの記事では問題を起こしているのは主にアカウントをもっている人であり、一人で複数のアカウントを持っている場合もあると思われる。検証可能性と、中立的な観点から記事を書く、という2つが特に守られていない。現在進行形の事件に関する記載では、確認の取れないことを編集すると混乱する原因になる。また情報源が信頼にたるかどうか、あいまいな部分をなくしていくのも今後の課題のひとつであろう。